キャリアデザイン部通信

-OMINATO HIGH SCHOOL-

大湊高等学校の2学期の活動をまとめました

第二号 令和六年一月
青森県立大湊高等学校
キャリアデザイン部

1年次

大学生とカタル！

グループになり、大学生と一緒に自分の「みなもと」を探すプログラムが開催されました。これだけは譲れない！という自分の軸となるものが「みなもと」です。中盤の代表大学生によるこれまでの人生をカタル場面では、自分たちが大学生の所へ行き、メモを取りながら真剣に聴く様子が見られました。大学を志望する生徒も、そうでない生徒も、どのように高校生活を送ればよいのか、そして自分の「みなもと」は何なのかを知る有意義な機会となりました。

大学生とのワークショップ

青森大学むつキャンパスの大学生十二名をお呼びして、下北HEROs課題研究発表の中間報告会を兼ねたワークショップを開催しました。生徒にとって自分の研究をクラスメイトだけでなく学校の外部の方に発表するのはこのワークショップが初めてでした。グループになり、一人ひとり現時点での研究報告をし、大学生からアドバイスや感想をいただきました。また、同じグループのクラスメイトの発表を聞いて、お互い刺激を受けている様子もありました。

下北HEROES

本校１年次では、授業科目である『産業社会と人間』において、一人一人が下北地域での困りごとや解決すべき課題を発見し、地域企業へのインタビューや文献調査等を実施しました。インタビューはむつ下北未来創造協議会の事業所の皆様にご協力いただきました。自分たちができることを考え企画提案書とスライドにまとめました。

2年次

文化芸術による子供育成推進事業 平田オリザ氏の劇団員の方々のワークショップ

普段は舞台役者を務める劇団員の方々が教室でワークショップをしてくださいました。お題に合わせてグループを組むゲームや「いいよ」と相手に言わせるまで芝居をするというゲームなど……。ちょっと俳優気分？で名演技を披露して役者の方に褒められた人も！ふとした言葉や身振りに気が付く素敵な時間でした。

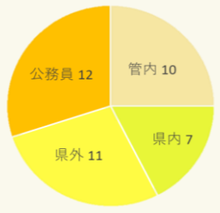
青森中央学院大学講演会 『なぜ、「探究」で学ぶのか』

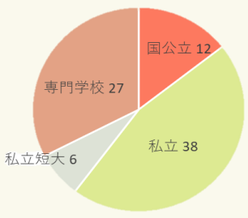
青森中央学院大学の成田昌造先生より課題研究に向けての心構えを教えていただきました。これから進学／就職と自らの次のステージを考えるにあたって、求められるのは「自分の生き方」を考える力である、というメッセージを受け、課題研究の一番の難所であるテーマ決めについて考えました。

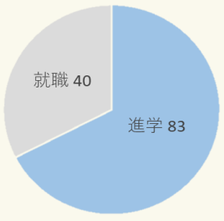
課題研究活動

2年次の後半から3年次の7月までの期間で、大湊高校では1人１テーマの課題研究を行っていきます。2学期力を入れたことは、自分が半年間取り組めるような魅力あるテーマを見つけること。大人でも難しい課題研究ですが、生徒はChatGPTなどのツールも活用しながら、普段の教科の勉強とは違った活動に取り組みました。

3年次 進路状況







総合型選抜及び推薦による大学入試で現在12名が国公立大学への進学を決めています。

＜進学先＞
弘前大学（3名）／青森県立保健大学
青森公立大学（2名）／札幌市立大学
はこだて未来大学（2名）／釧路公立大学
福島大学／筑波大学

令和6年1月現在

キャリアデザイン部主催イベント

大湊大学

大湊高校に大学・短期大学の先生方をお招きし、実際の講義を受けてみる企画が今年度も開催されました。大学進学を考えている生徒も、そうでない生徒も本物の学問に触れることができる、大湊高校ならではの進路行事です。大学とは何をすると所なのかを知り、「研究」とは何かを体感しました。

先輩から学ぶ

推薦による大学受験や就職試験等を突破した三年生の受験報告会が開催されました。今のうちにしておくべき事、進学先を選んだ理由、本番の緊張感等リアルなアドバイスが各教室から聞こえる時間でした。中には自分の参考書とノートを持参し勉強方法を後輩へ伝授する先輩も見受けられました。また、「本番の試験より緊張しながら後輩へ伝えた」と話す生徒もいました。

◁ノートや参考書を後輩に見せている様子
後輩たちは沢山メモをしていました

外まなび部

The プロフェッショナル

働いている人を講師にお呼びし、お話していただく企画です。2学期は二回開催されました。

▼第二回 医療に関わる仕事」弘前大学大学院の教授によるチーム医療や様々な医療の専門職についてお話をしていただきました。

▼第三回 消防士とは？消防士に必要なスキルとは？」青森県消防学校の講師の方に、実際の現場で着用する消防職員執務服の紹介を交えた講話をしていただきました。

▷第2回の様子
講師の教授へ積極的に質問していました

下北ジオパーク研究発表大会

十二月、プラザホテルむつで今年度の下北ジオパーク研究発表大会が開催されました。大湊高校は今年十月に千葉県銚子市開催された第十三回日本ジオパーク全国大会で「シン・べこもち　郷土食の未来を創造する」というテーマで、ポスターセッションに参加してきました。

大会では、全国大会の報告と、今年度の研究成果「べこもちの歴史と現在・新しいべこもちの活用方法の提案」を発表しました。参加した方から、「下北に住み、べこもちも身近なものなのに新しい発見が多かった。」と研究に対し驚きの感想がありました。今年八月には「第十四回日本ジオパーク全国大会・下北大会」が開催されます。ジオパークについての新しい研究が期待されます。

▽大人や参加していた小中学生の前でのポスターセッションの様子

総合学科発表会

最優秀賞

十二月二五日に今年度の総合学科研究大会が青森大学を会場に開催されました。大湊高校の今年度のテーマは、「防災」私たちが作る「災害に強い人と社会」～防災の意識と行動を変える　大湊高校の研究と実践～です。下北BOUSAIネットワークでの学びと体験をもとに、大湊高校としての課題を設定し、研究と実践を積み重ねました。避難所運営の研究をもとにした「大湊高校の避難所レイアウト」を作成。また、東京電力福島第一原子力発電所研修をもとにした「原子力災害を想定した避難訓練」この訓練は企画実施まで生徒中心で行う画期的なものです。防災は研究だけでなく実践を伴って初めて意味のあるものになります。その、研究と実践が認められ、今年度の最優秀賞を受賞しました。

防災訓練報告・自治体と学校の連携協力のお願い

防災士と学校敷地内の調査・検討

下北BOUSAIネットワークとは？

下北BOUSAIネットワークは、むつ市内の県立学校4校（大湊高校・田名部高校・むつ工業高校・むつ養護学校）が連携し、4校それぞれが学校の特色と強みを生かして活動する、緩やかなネットワークです。今年は「岩手県宮古市研修」「福島県・東京電力福島第一原発研修」といった研修だけでなく、「原子力災害研究」（むつ工業高校）、生徒が企画、実行した「原子力災害を想定した避難訓練」（田名部高校・大湊高校）、防災に関する研究発表（大湊高校）など、多くの研究と実践を積み重ねました。来年度も「無理なく、できる時にできる事を、楽しんで」取り組んでいこうと考えています。